

新居浜の野鳥

私たちの周りで見られる野鳥たち



「新居浜の野鳥」に収められている鳥種索引

名 前	ページ	名 前	ページ	名 前	ページ
アオゲラ	27	キンクロハジロ	12	ノスリ	18
アオサギ	9	クイナ	12	ノビタキ	16
アオシ	25	クサシギ	14	ハイタカ	27
アオバスク	19	クマタカ	27	ハクセキレイ	15
アカガシラサギ	8	クロジ	31	ハシビロガモ	11
アカハラ	21	クロツグミ	29	ハシブトガラス	32
アトリ	25	ケリ	18	ハシボソガラス	26
アマサギ	8	ゴイサギ	7	ハマシギ	4
イカル	25	コガモ	10	バン	13
イカルチドリ	14	コガラ	30	ヒガラ	31
イソシギ	5	コゲラ	19	ヒクイナ	12
イソヒヨドリ	6	コサギ	9	ヒドリガモ	11
ウグイス	22	コサメビタキ	30	ヒバリ	19
ウミアイサ	3	ゴジュウカラ	31	ヒヨドリ	20
ウミネコ	6	コチドリ	13	ヒレンジャク	21
エソビタキ	22	コマドリ	28	ピンズイ	20
エナガ	23	ササゴイ	7	ベニマシコ	32
オオアカゲラ	27	サンコウチョウ	23	ホオアカ	24
オオジュリン	17	シジュウカラ	23	ホオジロ	24
オオセグロカモメ	6	シメ	26	ホシハジロ	11
オオバン	13	ジョウビタキ	21	マガモ	9
オオヨシキリ	17	シロチドリ	4	マヒワ	32
オオルリ	30	シロハラ	21	マミチャジナイ	29
オカヨシガモ	11	スズガモ	12	ミサゴ	3
オグロシギ	14	スズメ	26	ミソサザイ	28
オシドリ	9	セグロカモメ	5	ミヤマホオジロ	31
カイツブリ	7	セグロセキレイ	16	ムクドリ	26
カケス	32	セッカ	17	メジロ	24
カシラダカ	24	センダイムシクイ	29	メボソムシクイ	29
カモメ	6	ダイサギ	8	モズ	20
カルガモ	10	タシギ	14	ヤマガラ	23
カワウ	3	タヒバリ	16	ヤマセミ	15
カワガラス	16	タマシギ	13	ユリカモメ	5
カワセミ	15	チュウサギ	8	ヨシガモ	10
カワラヒワ	25	チュウシャクシギ	5	ヨシゴイ	7
カンムリカイツブリ	3	チョウゲンボウ	18	ルリビタキ	28
キアシシギ	4	ツグミ	22		
キクイタダキ	22	ツバメ	20		
キジ	18	ツリスガラ	17		
キジバト	19	トビ	4		
キセキレイ	15	トモエガモ	10		
キビタキ	30	トラツグミ	28	以上120種	

はじめに

私たちのまち「新居浜」にはどんな野鳥がいるのだろうか？ 昔と比べると身近に見られる野鳥の数は、どうなっているのだろうか？ もし減少しているなら、どうすればよいのだろうか？ そのためには、まず、現在の状況を知らなければなりません。

そのような思いから、市民の皆様から野鳥の確認情報をいただいたり、野鳥観察会を開催しながら、野鳥観察グループのご協力を得て、「新居浜の野鳥」を作成しました。市では野鳥をはじめ、多くの動植物が私たちと一緒に生息できる自然環境の保全に努めています。

これからも様々な活動をとおして、生き物や自然をもっと大切にする気持ちを皆さんと一緒につくりたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

平成22年3月

「新居浜の野鳥」の見方

最上段に主として見られる環境を示しています。

- ・[名前]：日本鳥学会「日本鳥類目録」による和名を記しています。

(*写真でオスとメスの違いの顕著なものとの区別を示しています。)

- ・[目名／科名]：種の属する目名／科名を記しています。
- ・[鳥の移動性と生息域]：留鳥（年中いる鳥）、夏鳥（繁殖期を当地で過ごす鳥）、冬鳥（越冬のため当地で過ごす鳥）、旅鳥（繁殖地から越冬地に移動途中当地に滞在する鳥）、漂鳥（高地と低地の間を往来する鳥）の別及び主な生息環境を記しています。
- ・[大きさ]：スズメやキジバトなどのよく知っている鳥との比較を記しています。
- ・[身体の特徴]：身体各部の色や形の特徴を記しています。
- ・[習性]：食性や特徴的な動きなどを記しています。

3 海岸で見られる野鳥

カンムリカイツブリ



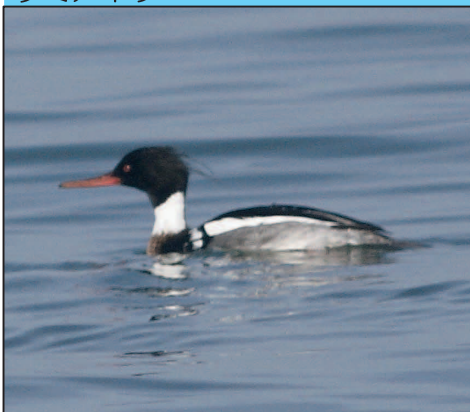
- ・カイツブリ目／カイツブリ科
- ・冬鳥-主として海に生息
- ・マガモよりやや小さく、首が長い。
- ・春さきになると頭の羽根が大きくなり、冠状になる。
- ・よく潜^{もぐ}って魚を捕らえる。

カワウ



- ・ペリカン目／ウ科
- ・留鳥-海、河川、湖に生息
- ・トビより大きい。
- ・黒い羽根に紫色の光沢がある。
- ・よく潜^{もぐ}って魚を捕らえる。

ウミアイサ



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥-主として海に生息
- ・マガモよりやや小さい。
- ・頭部から後頭部に長い冠羽^{くちばし}
オスの頭は黒く、メスは茶色、嘴は赤い。
- ・よく潜^{もぐ}って魚を捕らえる。

ミサゴ



- ・タカ目／タカ科
- ・留鳥-河口、海岸、池に生息
- ・トビよりやや小さい。
- ・白い頭、翼はトビより細長い。^{つばさ}
- ・水面上で停空飛行をし、魚を見付けると足から飛び込んで捕らえる。

海岸で見られる野鳥

トビ



- ・タカ目／タカ科
- ・留鳥－海岸から山にかけて生息
- ・タカ類は一般にメスの方が大きい。
- ・全体に茶褐色、翼先端部に白斑
- ・死肉、魚、残飯など食べる。

シロチドリ



- ・チドリ目／チドリ科
- ・留鳥－河口、海岸に生息
- ・コチドリより大きい。
- ・黒い首輪は前部がとぎれる。
- ・せわしく走りまわり、甲殻類やゴカイなどを食べる。

ハマシギ



- ・チドリ目／シギ科
- ・旅鳥／冬鳥－干潟、河口などに生息
- ・ムクドリよりやや小さい。
- ・上面は灰褐色で、下面は白っぽい。
夏羽になると上面は明るい茶色となり、腹が黒くなる。
- ・群れで行動し、貝類、ゴカイ類などを採食

キアシシギ



- ・チドリ目／シギ科
- ・旅鳥－河口、海岸に生息
- ・ムクドリよりやや大きい。
- ・灰褐色の羽根の地味な鳥
- ・浅い水中で甲殻類や昆虫こがんを捕らえる。
満潮時は護岸などで休憩する。

イソシギ



- ・チドリ目／シギ科
- ・留鳥一主として海岸に生息
- ・シロチドリより大きい。
- ・腹の白い部分が胸の側部に食込む。
- ・腰を上下に振りながら餌を探す。

チュウシャクシギ



- ・チドリ目／シギ科
- ・旅鳥一河口、海岸に生息
- ・キジバトより大きい。
- ・長い湾曲した嘴わんきょくくちばし
- ・群れで行動、砂の中のゴカイなどを食べる。

ユリカモメ



- ・チドリ目／カモメ科
- ・冬鳥一主として河口、海面に生息
- ・キジバトより大きい。
- ・赤い嘴、赤い脚くちばし
- ・夏羽では頭部が黒くなる。
- ・水面で小魚、干潟でゴカイなどを捕らえる。

セグロカモメ



- ・チドリ目／カモメ科
- ・冬鳥一河口、海面に生息
- ・トビと同大
- ・上面は青灰色、翼の先端が黒い。
- ・下嘴の先端部に赤い斑点、脚はピンク色くちばし
- ・群れで行動することが多い。
- ・水面から魚などを食べる。

海岸で見られる野鳥

オオセグロカモメ



- ・チドリ目／カモメ科
- ・冬鳥一主として河口、海面に生息
- ・セグロカモメより僅かに大きい。
- ・セグロカモメに酷似するが、上面がそれより濃色、幼鳥は褐色味がある。
- ・セグロカモメの群れに混じることが多い。水面で小魚、干潟でゴカイなどを食べる。

カモメ



- ・チドリ目／カモメ科
- ・冬鳥一河口、海面に生息
- ・ウミネコよりやや小さい。
- ・淡黄色の嘴、黄色い脚くちばし
- ・他のカモメ類に少数混じることが多い。水面で小魚、干潟でゴカイなどを捕らえる。

ウミネコ



- ・チドリ目／カモメ科
- ・冬鳥一河口、海面に生息
- ・ユリカモメよりやや大きい。
- ・黄色い嘴、黄色い脚くちばし
- ・嘴の先端は黒、最先端は赤くちばし
- ・水面で小魚、干潟でゴカイなどを捕らえる。

イソヒヨドリ



- ・スズメ目／ツグミ科
- ・留鳥一海岸に生息、繁殖期には山間部にも姿を現す。
- ・ヒヨドリより小さい。
- ・オスの背は青、腹はレンガ色
- ・メスは全体に地味な灰青色
- ・堤防や岩礁がんしょうの上の昆虫やフナムシなどを捕らえる。

7 池や川、周辺湿地で見られる野鳥
カイツブリ



- ・カイツブリ目／カイツブリ科
- ・留鳥一池、河口などに生息
- ・ムクドリよりやや大きい。
- ・夏羽は頭が黒色、喉は赤褐色、丸く白い眼、冬羽は^{なつばね}全体的に茶褐色になる。
- ・キュリリリリリと鳴く。
潜水して魚を捕る。

ヨシゴイ



- ・コウノトリ目／サギ科
- ・夏鳥一河川の葦の中や水田に生息
- ・キジバトより細身
- ・淡黄褐色の羽色
- ・主に小魚を捕り、人が近づくと上向きに直立して葦の葉になりすます。

ゴイサギ



- ・コウノトリ目／サギ科
- ・留鳥一池、河川に生息
- ・ハシボソガラスよりやや大きい。
- ・頭と背が紺色、後頭部に二本の白い冠羽がある。
- ・夕方から早朝にかけて活動、魚や蛙などを捕らえる。

ササゴイ



- ・コウノトリ目／サギ科
- ・夏鳥一河川や水田に生息
- ・ゴイサギよりやや小さい。
- ・頭部は濃紺色、背と翼は灰青色
翼上面に白い笹の葉模様がある。
- ・主に小魚を捕る。川面に不動の姿勢で^{えもの}獲物を狙う。

池や川、周辺湿地で見られる野鳥

アカカシラサギ



- ・コウノトリ目／サギ科
- ・旅鳥一河川、池、水田に生息
- ・ハシボソガラスより小さい。
- ・夏羽は頭から後頸まで赤褐色、背は青灰色、胸は紫褐色、喉と下腹は白
- ・冬羽は頭から背が灰茶褐色、他は白
- ・水中の魚、甲殻類、昆虫などを捕る。

アマサギ



- ・コウノトリ目／サギ科
- ・夏鳥一草地や水田などに生息
- ・コサギより小さい。
- ・くちばし嘴は黄色、夏羽では頭から胸にかけて橙色になる。
- ・草地や畑の昆虫を捕る。

ダイサギ



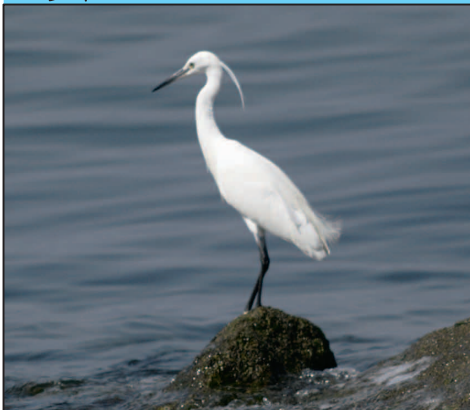
- ・コウノトリ目／サギ科
- ・夏鳥、一部留鳥一河口、河川、水田に生息
- ・いわゆるシラサギの中で最大
- ・くちばし嘴は夏期黒くなる。
- ・蛙、昆虫、小魚などを捕る。

チュウサギ



- ・コウノトリ目／サギ科
- ・夏鳥、一部留鳥一草地、河川、水田に生息
- ・コサギより大きくダイサギよりやや小さい。
- ・全身白色、くちばし嘴は橙黄色、脚は黒い。
- ・繁殖期胸に飾り羽、くちばし嘴は黒く変わる。
- ・蛙、昆虫、小魚、トカゲなどを捕る。

コサギ



- ・コウノトリ目／サギ科
- ・留鳥－水田、河川、海岸に生息
- ・ハシボソガラスよりやや大きい。
- ・全身白色、^{くちばし}嘴と脚は黒く、足指は黄色
繁殖期に頭、胸、肩に飾り羽が生じる。
- ・水中の小魚、昆虫、カエルなどを捕食

アオサギ



- ・コウノトリ目／サギ科
- ・留鳥－海岸、池、河川、水田、ダム湖で見られる。
- ・日本のサギ類では最大
- ・頭側部は黒色、顔から胸は白っぽい、
上面は灰色、^{くちばし}嘴と脚はピンク
- ・樹上に営巣。主に夕方から明け方にかけて魚類、両生類、爬虫類、雛などを捕食

オシドリ



- ・カモ目／カモ科
- ・留鳥－池、ダム湖で見られる。
- ・マガモよりひとまわり小さい。
- ・オスは鮮やかな色彩、メスは地味な灰色
- ・林内に入りドングリなどを食べる。

マガモ(右はオス)



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥－海域、池、湿地などに生息
- ・カルガモよりやや小さい。
- ・オスの頭は黒緑色の光沢、胸は茶色
尾は黒、その他は灰色っぽい、^{くちばし}嘴は黄色
- ・メスは全体に茶色、^{くちばし}嘴は褐色
- ・藻や植物の種などを食べる。

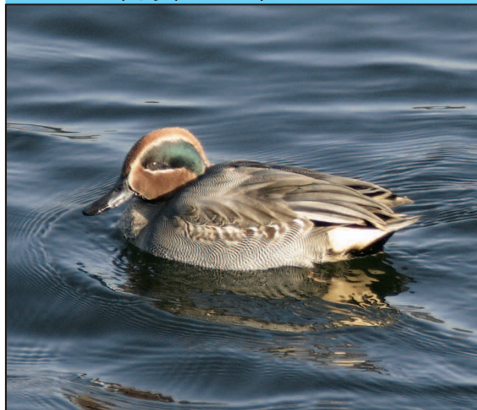
池や川、周辺湿地で見られる野鳥

カルガモ



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥、一部留鳥—河口、河川、水田に生息
- ・マガモより大きい。
- ・白い眉、黒い嘴の先が黄色くちばし
- ・植物の実などを食べる。

コガモ（写真はオス）



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥—池や湿地などに生息
- ・カモ類の中では最も小さい。
- ・オスは頭が茶色、目の周辺が緑色
メスは全体に茶色、羽根の縁が淡色
- ・藻や植物の種などを食べる。

トモエガモ（写真はオス）



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥—川や水田で採食、池で休息
- ・コガモよりやや大きい。
- ・オスの頭部は黄色と緑の巴模様
メスは地味な羽色、顔の前部に白斑
- ・水草や落ち穂などを食べる。

ヨシガモ（写真はメス）



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥—池、河川、水田に生息
- ・マガモよりひとまわり小さい。
- ・オスの頭頂部は茶色、頬から後頭部にかけて黒い鱗模様うろこ、尾羽に飾り羽
メスは全体的に地味な褐色
- ・日中は池の中などで休息、夕方に田や河川でイネ科の種子などを採食

オカヨシガモ (写真はメス)



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥一池にいることが多い。
- ・中型のカモ
- ・オスは全体的に灰褐色に見えるが胸に黒い小紋くちばしがある。嘴は黒い。
メスはマガモのメスに似た地味な羽色
- ・水面から逆立ちして水草や植物の種子などを食べる。

ヒドリガモ (写真はオス)



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥一河口、池に生息
- ・マガモよりひとまわり小さい。
- ・オスは茶色の頭部、額が黄色くちばし、嘴は灰色で先端が黒い。
- ・植物の実などを食べる。

ハシビロガモ (写真はオス)



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥一池や湿地などに生息
- ・マガモより小さい。
- ・オスは頭が緑色、胸が白、腹が赤茶色、メスは全体に茶色
オスメスとも大きなシャベル状くちばしの嘴
- ・水面上のプランクトンを漉して食す。

ホシハジロ (手前はメス)



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥一川や水田で採食、池で休息
- ・コガモとマガモの中間程度の大きさ
- ・オスは頭が茶色、胸が黒、背と腹が白、メスは地味色 白いアイリング
- ・水草や落ち穂などを食べる。
潜水して動物質のものも食べる。

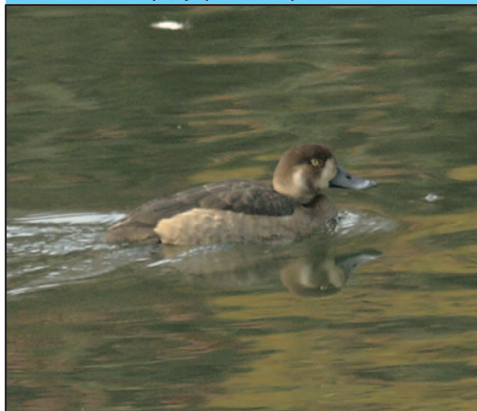
池や川、周辺湿地で見られる野鳥

キンクロハジロ



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥一河口、池に生息
- ・コガモとマガモの中間程度の大きさ
- ・オスは頭部、胸、尾が黒、腹が白い。オスメスとも後頭部に長い冠羽
- ・メスはオスより全体的に褐色味
- ・潜水して甲殻類や水生昆虫、水草などを食べる。

スズガモ (写真はメス)



- ・カモ目／カモ科
- ・冬鳥一河口、池に生息
- ・中型のカモ
- ・オスは頭、胸、尾が黒、腹は白い。嘴は灰色で先端が黒い。メスの胸、腹は褐色、顔の前面が白い。
- ・潜水して貝類、甲殻類、海草などを採食する。

クイナ



- ・ツル目／クイナ科
- ・冬鳥一葦原、水田などに生息
- ・キジバトより小さい。
- ・赤い嘴、下腹に白黒の横斑
- ・主として泥の中の動物を食べる。

ヒクイナ



- ・ツル目／クイナ科
- ・留鳥一葦原、草の茂った湿地に生息
- ・ムクドリ程度の大きさ
- ・顔から腹にかけて赤茶色、脚は鮮やかな赤
- ・昆虫、甲殻類、魚などを食べる。警戒心が強くすぐ茂みに逃げ込む。

バン（親と雛）



- ・ ツル目／クイナ科
- ・ 留鳥一湿地、水田などに生息
- ・ キジバト程度の大きさ
- ・ 黒っぽい身体、^{くちばし}嘴から額にかけて赤く、^{くちばし}嘴の先は黄色、脚は黄緑色
- ・ 動物質、植物質の何でも食べる。
よく雛と一緒に歩いているのを見かける。

オオバン



- ・ ツル目／クイナ科
- ・ 冬鳥一池に生息
- ・ 小型カモ類と^{くちばし}同大
- ・ 黒い身体に白い^{くちばし}嘴と額が目立つ。
- ・ 水草などを食べる。
よく潜る。

タマシギ（写真手前はメス）



- ・ チドリ目／タマシギ科
- ・ 留鳥一休耕田、湿地に生息
- ・ ムクドリ程度の大きさ
- ・ メスの頭部は赤茶色、大きな目に白いアイリング
- ・ 昆虫、甲殻類、ミミズなどを食べる。
メスの方が美しく、オスが子育てをする。

コチドリ



- ・ チドリ目／チドリ科
- ・ 夏鳥一河川、造成地などに生息
- ・ スズメよりやや大きい。
- ・ 頭と目の周りが黒、額は白い、首の周りに黒いリング、黄色のアイリング
- ・ 小型昆虫類を捕る。
急発進・急停止を繰り返す。

池や川、周辺湿地で見られる野鳥

イカルチドリ



- ・チドリ目／チドリ科
- ・留鳥一主として河川の中流域に生息
- ・モズよりやや大きい。
- ・コチドリに似るがこれより一回り大きく、
くちばし 嘴も長い。
- ・ピュと一声鳴く。
河原で昆虫や甲殻類などを捕る。

クサシギ



- ・チドリ目／シギ科
- ・冬鳥一海岸に近い湿地などに生息
- ・ムクドリよりやや小さい。
- ・頭、背、尾は灰褐色、腹は白い。
夏羽では白い斑点が出る。
- ・昆虫、甲殻類など食べる。
鋭い声でピピッと鳴いて飛び立つ。

オグロシギ



- ・チドリ目／シギ科
- ・旅鳥一水田、池、河口に生息
- ・キジバトよりやや大きい。
- ・頭と胸が赤褐色、翼は茶褐色の鱗模様
うろこ
腹は白い、夏羽では胸に縞模様
しま
くちばし 嘴は長く、その基部は橙色～赤色
- ・貝類、ミミズ、昆虫、ゴカイなどを採る。

タシギ



- ・チドリ目／シギ科
- ・旅鳥／冬鳥一水田、用水路など湿地に生息
- ・ヒヨドリ程度
- ・枯れ草色で気がつきにくい。
- ・人が近づくとうすくまって動かず、なおも
近づくと、ジェット鳴いて稲妻形に飛び出す。
くちばし 嘴を泥の中に突き刺してミミズや甲殻類、
昆虫などを採食

ヤマセミ



- ・ブッポウソウ目／カワセミ科
- ・留鳥－渓谷、ダム湖などに生息
- ・キジバトよりやや大きい。
- ・頭、胸、翼、尾は白黒の鹿の子模様
腹は白く、^{くちばし}嘴は灰黒色
- ・木の枝などにとまってよく冠羽を逆立て
水中の魚を狙い、飛び込んで捕食

カワセミ



- ・ブッポウソウ目／カワセミ科
- ・留鳥－海岸、河川、渓谷、池に生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・頭と翼は光線により深緑又は青く見える。
胸は橙色、首の周りが白、^{くちばし}上嘴は紺色
- ・木の枝や護岸などから水中に飛び込んで
小魚や甲殻類を捕らえる。

キセキレイ



- ・スズメ目／セキレイ科
- ・留鳥－溪流、河川、農耕地に生息
- ・スズメより尾が長い。
- ・灰色の背、黄色い腹
- ・昆虫を捕らえる。
尾羽を上下に振る。
飛んでいる昆虫をよく空中で捕らえる。

ハクセキレイ



- ・スズメ目／セキレイ科
- ・留鳥－海岸、池、河川、水田、公園などで見られる。
- ・モズと同大
- ・後頭部、胸は黒色、前頭部、頬、腹は白
上面は冬期は黒いが、夏は灰色に変化
- ・地上や水中又は空中の昆虫などを捕食

池や川、周辺湿地で見られる野鳥

セグロセキレイ



- ・スズメ目／セキレイ科
- ・留鳥－河川、農耕地などに生息
- ・ハクセキレイと同大
- ・頭、胸、背、尾は黒、額と腹は白い。
(ハクセキレイは額、喉、頬が白い。)
- ・水辺を歩いて昆虫を捕らえる。

タヒバリ



- ・スズメ目／セキレイ科
- ・冬鳥－河原、農耕地、草地に生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・ヒバリに似て稲の刈り跡では見付けにくい。
胸に茶褐色の斑点
冠羽はない。
- ・チッと鳴いて飛び立つ。(ヒバリはピッ)
昆虫類、草の種子などを食べる。

カワガラス



- ・スズメ目／カワガラス科
- ・留鳥－河川中流域、溪流に生息
- ・ツグミよりやや小さいが、丸味がある。
- ・全体的に濃い茶色
- ・谷川沿いにピッピッと鳴きながら飛ぶ。
水中を歩いて小石の下などにいる。
水生昆虫や小魚などを採食する。

ノビタキ (写真はオス)



- ・スズメ目／ツグミ科
- ・旅鳥－草地に生息
- ・スズメよりやや小さい。
- ・オスの上面は黒、首と腹は白、胸は橙色、
メスは上面が茶色
- ・昆虫やクモを採食

オオヨシキリ



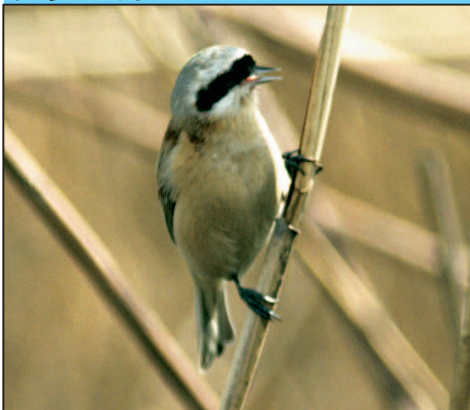
- ・スズメ目／ウグイス科
- ・留鳥あしほら一葦原に生息
- ・スズメより尾が長い。
- ・灰緑褐色の上面、胸は汚白色
- ・昆虫やクモを捕らえる。
アシやススキなどに止まりギョギョシ・ギョギョシと大きな声さえずで囀る。

セッカ



- ・スズメ目／ウグイス科
- ・留鳥あしほら一葦原、草地などに生息
- ・メジロと同大
- ・黄褐色の上面、腹は白っぽい。
翼と尾羽は濃い茶色
- ・昆虫やクモを採食
チャチャ・チャチャと飛び出し、ヒッヒッヒッと鳴いて下降する。

ツリスガラ



- ・スズメ目／ツリスガラ科
- ・冬鳥あしほら一葦原に生息
- ・スズメより小さい。
- ・オスの頭は灰色、メスの頭は淡褐色
- ・アシの葉鞘ようしやうの中の昆虫を食べる。
群れで行動することが多い。

オオジュリン



- ・スズメ目／ホオジロ科
- ・冬鳥あしほら一葦原などに生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・オスの頭は黒、メスは茶色
翼と尾羽は濃い茶色、腹は白
- ・冬の間は葦原の中に潜むが、春先には
アシの茎を伝って穂先さえずに出て囀る。

公園、庭、畑で見られる野鳥

ノスリ



- ・タカ目／タカ科
- ・冬鳥一低山に生息
- ・トビよりやや小さい。
- ・胸は白っぽい、飛行中尾羽を扇形に開く。
- ・ネズミ、モグラ、爬虫類などを捕食

チョウゲンボウ



- ・タカ目／ハヤブサ科
- ・漂鳥一山地から農耕地に生息
- ・キジバトよりやや大きい。
- ・オスの頭と尾は灰色、メスの上面は茶褐色、胸に縦斑がある。
- ・昆虫類やネズミなどを捕らえる。停空飛行をよくする。

キジ（写真はオス）



- ・キジ目／キジ科
- ・留鳥一山地、草地、農耕地に生息
- ・マガモと同大、オスは尾が長い。
- ・オスの顔は赤い皮膚が裸出頭部から腹にかけて黒緑色、メスは全体に淡褐色で黒褐色の斑
- ・植物の種子や芽を採食人が近づくと茂みに逃げ込む。

ケリ



- ・チドリ目／チドリ科
- ・冬鳥一畑、水田、草地などに生息
- ・キジバトよりやや大きい。
- ・頸^{くび}から上は灰色、翼と背は灰褐色、胸に半月型の黒い模様、腹は白い。黄色い嘴と脚が目立つ。
- ・主として昆虫類を食べる。ケリリと鳴く。

19 公園、庭、畑で見られる野鳥
キジバト



- ・ハト目／ハト科
- ・留鳥—市街地から山地に生息
- ・橙色の虹彩、鱗模様の翼
- ・樹木の実や芽、草の種子を食べる。
一年に複数回繁殖する。

アオバズク



- ・フクロウ目／フクロウ科
- ・夏鳥—低山、社寺の森に生息
- ・キジバトよりやや小さい。
- ・大きな目、黄色の虹彩
- ・夜行性の蛾や甲虫などを捕らえる。

コゲラ



- ・キツキ目／キツキ科
- ・留鳥—公園、山地に生息
- ・スズメと同大
- ・白黒の縞模様の背、オスは頭部に赤い斑点がある。
- ・樹皮に付いた昆虫やクモを食べる。
冬期はシジュウカラやエナガの群れに混じる。

ヒバリ



- ・スズメ目／ヒバリ科
- ・留鳥—草地、河原、農耕地に生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・淡い黄褐色に黒褐色の斑
- ・植物の種子、昆虫類などを食べる。
繁殖期には空中に舞い上がり囀る。

公園、庭、畑で見られる野鳥

ツバメ



- ・スズメ目／ツバメ科
- ・夏鳥—水田、河川、低山に生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・上面は光沢のある紺色、額と喉は赤茶色、腹は白い。
- ・住宅やビルの軒などに巣を作る。飛んでいる昆虫を捕らえる。

ビンズイ



- ・スズメ目／セキレイ科
- ・漂鳥—公園、山地に生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・オリーブ色の上面、胸に黒褐色の縦斑がある。
- ・地上の昆虫やクモを食べる。冬期は草の種子も食べる。

ヒヨドリ



- ・スズメ目／ヒヨドリ科
- ・留鳥／漂鳥—平地から低山の開けた環境に生息
- ・全体的に灰褐色、頬は茶色
- ・波状飛行をする。小さな群れで生活することが多い。昆虫類、木の実、花芽、花の蜜などを採食

モズ



- ・スズメ目／モズ科
- ・留鳥／漂鳥—平地から低山の開けた環境に生息
- ・スズメよりかなり大きい。
- ・背は灰色、翼上面は褐色、腹は橙色
- ・気性が強く、他の鳥を攻撃する。止まっている時、尾羽をよく動かす。昆虫、カエル、ミミスなどを食べる。

21 公園、庭、畑で見られる野鳥
ヒレンジャク



- ・スズメ目／レンジャク科
- ・冬鳥—市街地、公園、山地に生息
- ・ムクドリより小さい。
- ・薄茶色の上面、尾は灰色味を帯び、先端は赤い、冠羽と翼先端部の黒白赤の模様が目立つ。
- ・庭木や街路樹の実を採食する。

ジョウビタキ（写真はメス）



- ・スズメ目／ツグミ科
- ・冬鳥—林の周り、農耕地、河原に生息
- ・スズメと同大
- ・オスは顔、背、翼は黒色、頭は灰色
胸と腹はオレンジ色、翼に白い斑点
メスは全体的に灰褐色、腰は橙色
- ・昆虫、クモ、木の実を採食する。

アカハラ



- ・スズメ目／ツグミ科
- ・旅鳥—比較的明るい林内に生息
- ・ツグミと同大
- ・頭から尾にかけて暗褐色、胸は鮮やかなオレンジ色、下腹は白色
- ・地上を跳ね歩いて立ち止まる動作を繰り返し、昆虫、ミミズ、木の実などを採食

シロハラ



- ・スズメ目／ツグミ科
- ・冬鳥—公園、低山、果樹園に生息
- ・ツグミよりやや大きい。
- ・上面は灰茶褐色、腹は汚白色
黄色のアイリング
- ・警戒心が強く、ツィー、ビビビビ・・・と鳴いて飛び立つ。

公園、庭、畑で見られる野鳥

ツグミ



- ・スズメ目／ツグミ科
- ・冬鳥－林内、農耕地、河原などに生息
- ・ヒヨドリより小さい。
- ・頭から尾にかけて上面は茶褐色
腹に鱗模様、白い眉がある。
- ・地上を跳ね歩いては立ち止まり
落ち葉の下の虫やミミズを採食する。

ウグイス



- ・スズメ目／ウグイス科
- ・留鳥－平地から高い山地まで生息
- ・スズメと同大
- ・灰色がかったオリーブ色の上面
喉から腹にかけて汚白色
- ・藪の中の昆虫やクモを採食
囀りの声はお馴染みのホーホケキョ

キクイタダキ



- ・スズメ目／ウグイス科
- ・留鳥／漂鳥－山地の針葉樹に生息
- ・スズメより小さい。
- ・メジロに似た地色、頭に黄色と黒の筋
翼の部分に白と黒の模様
- ・メジロの群れに混じることが多い。
メジロより細い声
昆虫、クモなどを採食

エソビタキ



- ・スズメ目／ヒタキ科
- ・旅鳥－公園、山地に生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・上面は灰褐色、下面は白っぽい胸
脇腹に暗褐色の縦斑がある。
- ・樹の枝に止まり、空中の昆虫などを捕らえ
元の枝に戻る。ミミズや木の実も食べる。



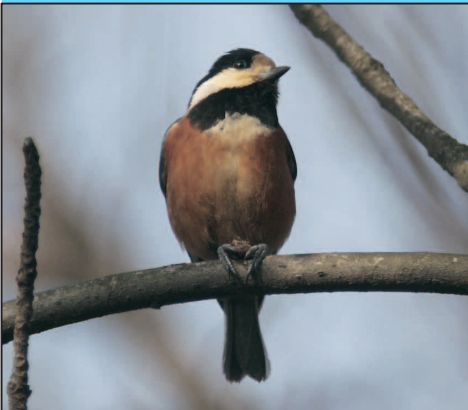
- ・スズメ目／カササギヒタキ科
- ・夏鳥一公園、低山に生息
- ・身体はスズメ大であるが特にオスの尾が長い。
- ・頭から尾の先まで黒紫色、腹は白い、眼の周りに青いリング
- ・暗い林の中を動き回り昆虫やクモを捕らえる。

エナガ



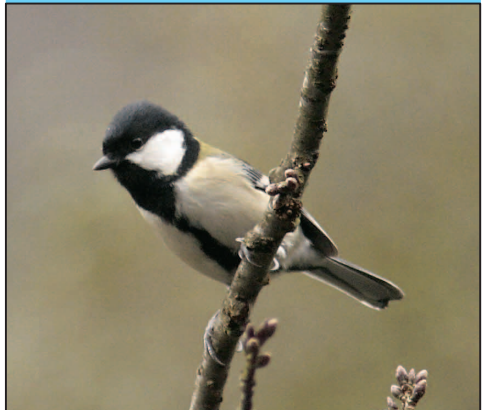
- ・スズメ目／エナガ科
- ・留鳥一公園、山地などに生息
- ・スズメより小さい。
- ・上面は黒い、薄いピンク色の翼部、頭頂部は白い。
- ・小群でシジュウカラの群れに混じって樹上を移動、昆虫や木の実などを採食

ヤマガラ



- ・スズメ目／シジュウカラ科
- ・留鳥一公園、山地などに生息
- ・スズメと同大
- ・頭と喉が黒、翼は灰色、背と腹は橙色
- ・樹上で昆虫や木の実を採食

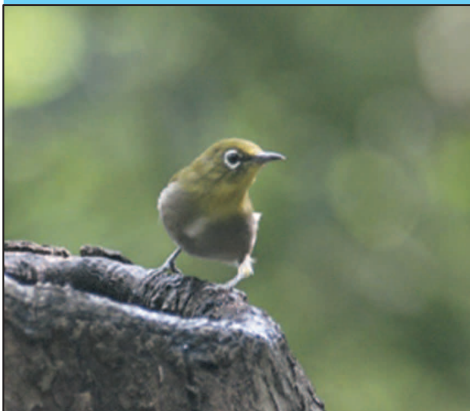
シジュウカラ



- ・スズメ目／シジュウカラ科
- ・留鳥一市街地から山地まで生息
- ・スズメと同大
- ・頭が黒く、頬が白い、背は黄色味、喉から腹にかけて一本の黒い帯、黒白赤の模様が目立つ。
- ・樹上で昆虫、クモ、木の種子などを採食

公園、庭、畑で見られる野鳥

メジロ



- ・スズメ目／メジロ科
- ・留鳥／漂鳥－樹木の中などに生息
- ・スズメより小さい。
- ・頭から尾にかけて上面は黄緑色、腹は白く、眼の周りが白い。
- ・木の中をチィと鳴きながら活発に動く。昆虫、クモ、木の実、花の蜜を採食

ホオジロ（写真はオス）



- ・スズメ目／ホオジロ科
- ・留鳥－草地、山地などに生息
- ・スズメより大きい。
- ・上面は茶褐色に黒い斑点、白い眉、頭頂線と過眼線はオスが黒、メスは茶色、腹は淡褐色、腰は赤茶色
- ・主として草の種子を食べる。繁殖期以外は小群で行動

ホオアカ



- ・スズメ目／ホオジロ科
- ・漂鳥－草地に生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・ホオジロに似るが、頬が赤茶色 胸に飾り模様があり、腹はより淡色
- ・草の種子などを食べる。

カシラダカ



- ・スズメ目／ホオジロ科
- ・冬鳥－草地、^{あしほら}葦原、低山に生息
- ・スズメと同大
- ・ホオジロに似るが腹が白、冠羽を立てる。
- ・地上で草木の種子を採食する。小群で行動することが多い。

アオジ



- ・スズメ目／ホオジロ科
- ・冬鳥／漂鳥－草地、山地などに生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・ホオジロに似るが全体的に黄色味
- ・地上を歩きながら昆虫、草の種子などを食べる。
- ・人の気配で茂みに逃げ込む。

アトリ



- ・スズメ目／アトリ科
- ・冬鳥－草地、農耕地、山地に生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・オスの頭と背は黒っぽい。メスは薄茶色、胸は橙色、腹は白い。
- ・草や木の種子などを食べる。
- ・大群で移動することがある。

カワラヒワ



- ・スズメ目／アトリ科
- ・留鳥－公園、農耕地、低山に生息
- ・スズメと同大
- ・上面は茶色、胸と腹はそれより淡色
- ・ピンク色の嘴と黄色い翼の縁が目立つ。
- ・群れで草木の種子を採食する。

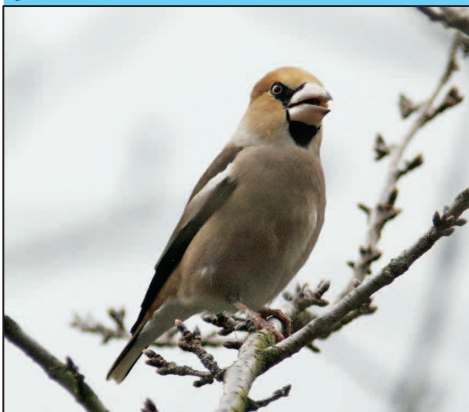
イカル



- ・スズメ目／アトリ科
- ・留鳥－公園、社寺、山地などの大きな樹に生息
- ・ムクドリと同大
- ・頭、翼先端及び尾は青黒色、腹と背は灰褐色、黄色い大きい嘴
- ・草や木の種子を採食する。特に固い木の実もパチンと割って食べる。

公園、庭、畑で見られる野鳥

シメ



- ・スズメ目／アトリ科
- ・冬鳥－公園、山地などに生息
- ・ムクドリより小さいがずんぐりしている。
- ・全体的に淡褐色、翼と背は濃い茶色
喉と眼先は黒、ピンク色の嘴くちばし
- ・イカル同様の強い嘴くちばしで草や木の種子などを食べる。

スズメ



- ・スズメ目／ハタオリドリ科
- ・留鳥－草地、農耕地、川縁に生息
- ・頭から尾にかけて茶色、下面は汚白色
口の周りは黒く、頬に黒点がある。
- ・軒下などに巣作り、冬期は畑や芦原で
集団で過ごすことが多い。
昆虫、草や木の種子などを食べる。

ムクドリ



- ・スズメ目／ムクドリ科
- ・留鳥－樹上、農耕地、草地に生息
- ・頭は黒色、顔の部分は白っぽい。
身体の部分は全体に灰褐色
- ・樹洞に巣作り、非繁殖期は大群で
竹藪などのねぐらに帰る。
昆虫、木の実などを食べる。

ハシボソガラス



- ・スズメ目／カラス科
- ・留鳥－公園、市街地、農耕地、山地、
海岸などに単独又は群れで生息
- ・全身黒色
- ・ハシブトガラスより濁った声で鳴く。
非常に適応性が強く、雑食性

ハイタカ



- ・タカ目／タカ科
- ・留鳥／漂鳥一草地、農耕地、山地に生息
- ・キジバトよりひとまわり大きい。
- ・上面は暗灰青色、胸は白地に橙色の横縞
- ・小鳥やネズミなどを捕食する。
夏期は山岳地帯に、冬期は農耕地に降りてくる。

クマタカ



- ・タカ目／タカ科
- ・留鳥一山地の林に生息
- ・トビより大きく、羽幅も大きい。
- ・上面は暗灰褐色、胸から腹は淡茶褐色
翼の横帯模様が顕著
- ・哺乳類、鳥類、爬虫類などを食べる。
山の稜線上を滑空するのが見られる。

アオゲラ



- ・キツツキ目／キツツキ科
- ・留鳥一社寺の森、山地に生息
- ・ムクドリより大きい。
- ・頭頂部と顎線がくせんが赤い、上面は灰緑色
腹は白っぽく、脇腹うろこに白黒の鱗模様
- ・樹皮の下の昆虫類を食べる。
樹の幹に穴をあけて巣を作る。
ピョーピョーピョーと大きな声で鳴く。

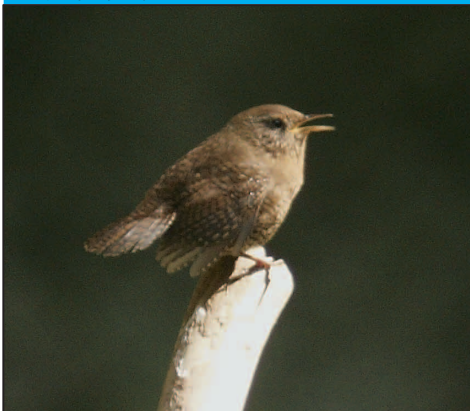
オオアカゲラ



- ・キツツキ目／キツツキ科
- ・留鳥一山地に生息
- ・ムクドリよりやや大きい。
- ・頭頂部（オスのみ）と腰が赤い。
上面は黒地に白い横斑、顔は白い。
- ・木の幹を周りながら昆虫類を採食
春先キツツキ類は嘴で枯れ木くちばしを叩く
ドラミングという行動をする。

森林や高い山で見られる野鳥

ミソサザイ



- ・スズメ目／ミソサザイ科
- ・留鳥／漂鳥一草地、農耕地、山地に生息
- ・スズメより小さい。
- ・全体に茶色の地に淡色の小さい斑
- ・昆虫類やクモを採食する。
繁殖期にいろいろな声の組合せの長い唄を囀る。

コマドリ



- ・スズメ目／ツグミ科
- ・漂鳥一山地の林、溪谷沿いに生息
- ・スズメと同大
- ・頭部から胸にかけて赤褐色、背と翼は茶色、腹は灰色
- ・昆虫類、クモ、ミミズなどを食べる。
夏期は高山にいるが、冬期低山に降りてくる。ヒンカラカラ・・・と囀る。

ルリピタキ (写真はオス)



- ・スズメ目／ツグミ科
- ・留鳥一大きな樹のある山地に生息
- ・スズメと同大
- ・オスの上面は暗青色、メスはオリーブ色、喉から腹は白、脇は橙色
- ・主として昆虫類、クモを採食

トラツグミ



- ・スズメ目／ツグミ科
- ・留鳥／漂鳥一暗い林内に生息
- ・ツグミより大きい。
- ・全体に黄色、黒、白の鱗模様
- ・昆虫類やミミズを採食する。
夜間も活動し、夕方から早朝にかけてヒーという高い声で連続的に鳴く。

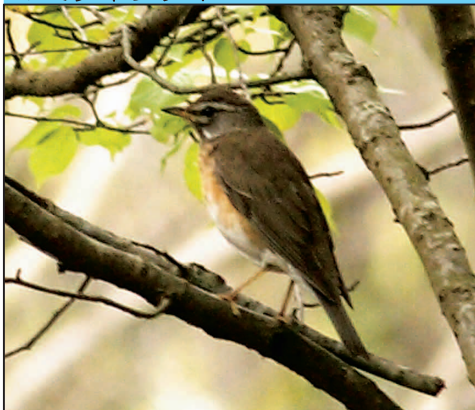
森林や高い山で見られる野鳥

クロツグミ (写真はオス)



- ・スズメ目／ツグミ科
- ・夏鳥/旅鳥—公園、山地に生息
- ・ツグミよりやや小さい。
- ・頭から尾の先まで黒色、メスは灰褐色
腹は白地に黒い斑点、オスの嘴は黄色い。
- ・繁殖期にオスが美しい声で囀る。
林の中を跳ね歩き、落ち葉の下のミミズ
や昆虫を採食する。

マミチャジナイ



- ・スズメ目／ツグミ科
- ・旅鳥—山地の比較的暗い林に生息
- ・ツグミよりやや小さい。
- ・上面は灰褐色、胸から脇は橙色
眼の上と下に細い白い線がある。
- ・昆虫類、ミミズ、木の実などを食べる。
渡りの時期は群れで行動する。

メボソムシクイ



- ・スズメ目／ウグイス科
- ・旅鳥—公園、山地に生息
- ・スズメと同大
- ・上面はオリーブ色、肩、喉から腰に
かけて汚白色
- ・主として昆虫類、クモを採食
春はチヨ・チヨ・チヨ・チヨと囀る。

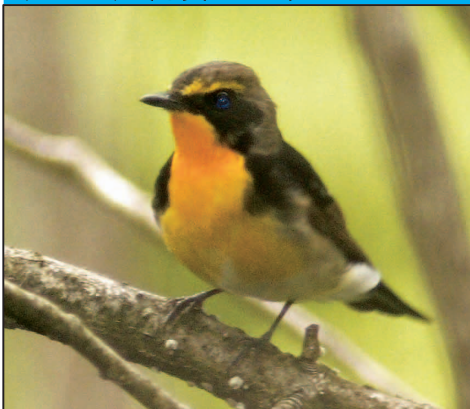
センダイムシクイ



- ・スズメ目／ウグイス科
- ・夏鳥/旅鳥—公園、山地に生息
- ・スズメと同大
- ・上面はオリーブ色、肩、喉から腰に
かけて白い。
- ・主として昆虫類、クモを採食
春はチヨ・チヨ・チヨ・ビーと囀る。

森林や高い山で見られる野鳥

キビタキ (写真はオス)



- ・スズメ目／ヒタキ科
- ・夏鳥一公園、山地に生息
- ・スズメと同じ位の大きさ
- ・オスは黒っぽい上面、黄色い眉、喉、胸、腰、翼の白い紋が目立つ。メスは上面がオリーブ色
- ・樹冠の下で昆虫類、クモなどを採食
色々な声で囀り、他の鳥の声やツクツクボウシの声の真似をする。

オオルリ (写真はオス)



- ・スズメ目／ヒタキ科
- ・夏鳥一公園、溪流沿い、山地に生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・オスは紺瑠璃色の上面、顔と喉は黒く、腹は白い。メスは全体的に褐色
- ・日本三鳴鳥の一つ、美声で囀る。
昆虫類を空中採食することが多い。

コサメビタキ



- ・スズメ目／ヒタキ科
- ・夏鳥／旅鳥一公園、山地に生息
- ・スズメと同じ位の大きさ
- ・上面は灰褐色、喉、胸、腹は白、白いアイリング
- ・枝先から飛び立ち、飛んでいる昆虫などを採食

コガラ



- ・スズメ目／シジュウカラ科
- ・留鳥一山地に生息
- ・スズメよりやや小さい。
- ・上面は灰色、黒い頭と喉、頬と胸は白い。
- ・枝先で昆虫類などを食べる。
他のシジュウカラ類と群れで行動する。
ツピ・ツピ・ツピなどと囀る。

ヒガラ



- ・スズメ目／シジュウカラ科
- ・留鳥一公園、山地に生息
- ・スズメより小さい。
- ・シジュウカラと似るがやや小型
頭部と喉は黒く、腹は汚白色
- ・主として昆虫類、クモを採食
ツピチ・ツピチ・・・と囀る。

ゴジュウカラ



- ・スズメ目／ゴジュウカラ科
- ・留鳥一山地に生息
- ・スズメと同大
- ・上面は灰青色、黒い過眼線、頬及び下面は白い、淡橙色の脇腹
- ・幹や枝の周りで昆虫類などを採食
幹の上を逆さになってもよく走る。
フィー・フィーなどと囀る。

ミヤマホオジロ（写真はオス）



- ・スズメ目／ホオジロ科
- ・留鳥一公園、山地に生息
- ・スズメよりやや大きい。
- ・ホオジロと似るが黄色の眉と胸に黒褐色の縦斑があることが異なる。メスはオスの黒い部分が茶褐色
- ・低木の下などで草の種子、昆虫類、クモを採食

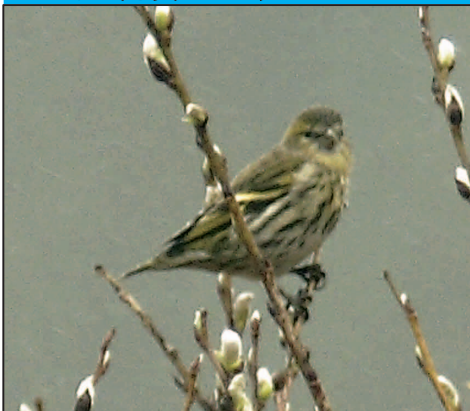
クロジ（写真はメス）



- ・スズメ目／ホオジロ科
- ・留鳥一山地の茂みに生息
- ・スズメより大きい。
- ・オスは全体に灰色、翼の部分に褐色味
メスの上面は褐色、頭頂、眉、顎に黄白色の線、胸から腹にかけて褐色の縦斑
- ・草の種子や昆虫などを採食する。

森林や高い山で見られる野鳥

マヒワ (写真はメス)



- ・スズメ目／アトリ科
- ・冬鳥—公園、山地に生息
- ・スズメよりやや小さい。
- ・オスは黒っぽい上面、黄色い眉と翼の紋が目立つ。
メスはオスより全体的に淡色
- ・小群で小さな木の実を採食

ベニマシコ (写真はメス)



- ・スズメ目／アトリ科
- ・冬鳥—灌木の散在する山地の草地に生息
- ・スズメとほぼ同じ
- ・オスは全体に紅色で翼に白と黒の部分がある。全体に赤褐色から黄褐色で翼の部分に白斑がある。^{くちばし}嘴は短い。
- ・草木の種子や芽、昆虫類などを採食

カケス



- ・スズメ目／カラス科
- ・留鳥—山地に生息
- ・キジバトと同大
- ・上面は灰赤紫色、下面は淡褐色
頭は白地に黒の縦斑、眼の周りは黒い、
翼に青、白、黒のさざ波模様
- ・杉や檜の樹間を飛び、雑食性
しわがれ声でジェーと鳴く。

ハシボトガラス



- ・スズメ目／カラス科
- ・留鳥—ハシボソガラスが海岸や市街地に多いのに対し、比較的山間部に多い。
- ・ハシボソガラスよりやや大きい。
- ・ハシボソガラスより^{くちばし}嘴が大きい。
- ・雑食性、カアカアと鳴く。

バードウォッチングの楽しみ

楽しみ方はいろいろですが、まず身近な場所から始めるとよいと思います。自宅の庭や散歩道で出会う鳥を観察しましょう。そして、ホームグラウンドを持てば、季節によって鳥の種類が変わったり、同じ鳥でも行動や羽根の色が変化するのが観察出来るかも知れません。出来ればメモと遠くの鳥を観察するための双眼鏡を用意しておくともよいですね。双眼鏡は8倍位のものが観察しやすいようです。同じ趣味を持つもの同志と語り合うのも楽しみの一つです。その場として、日本野鳥の会愛媛県支部又は野鳥の会東予連絡会では、探鳥会を毎月行っていますのでご照会下さい。

野鳥観察のマナー

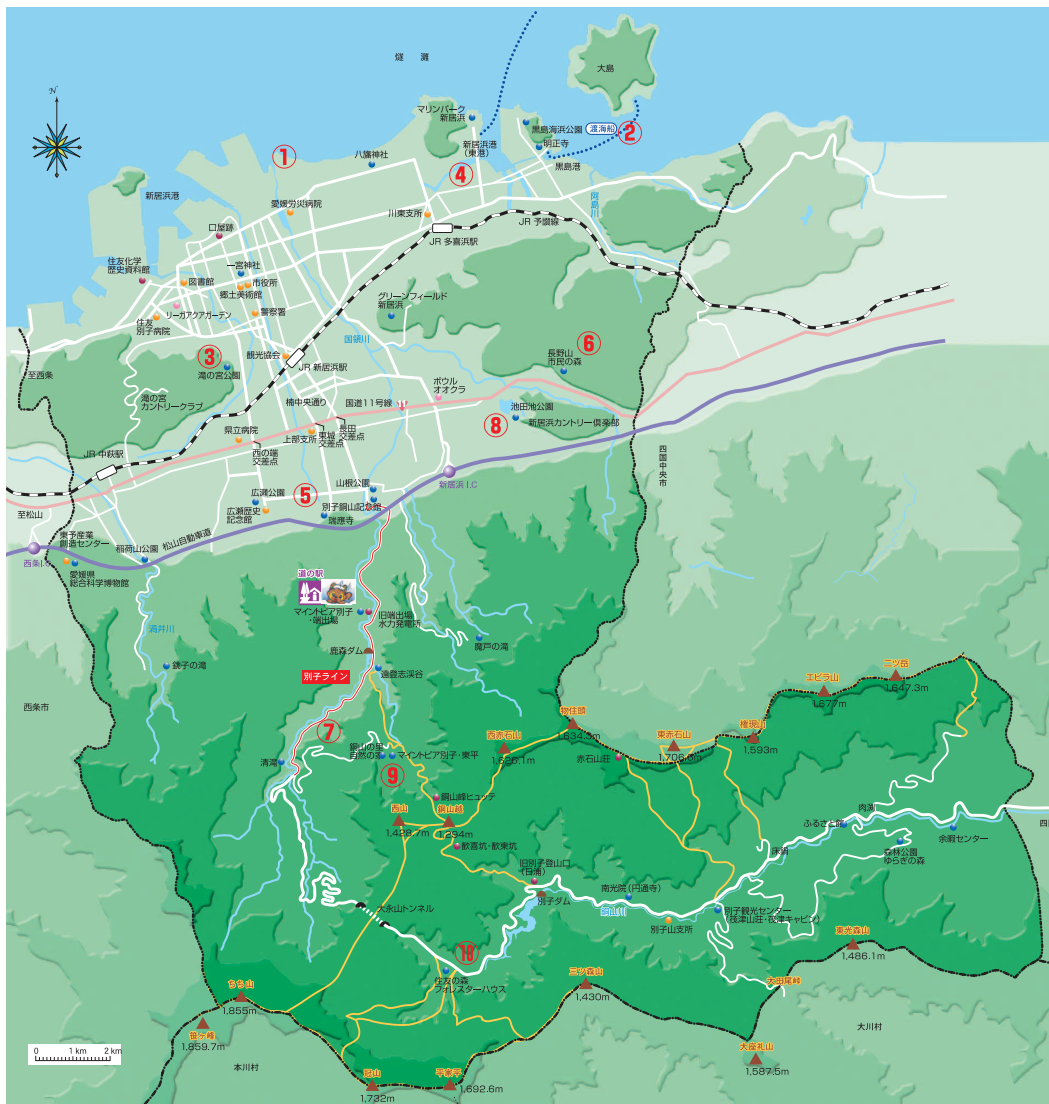
野鳥は、様々な環境に適応して生きています。人間は少くらしい環境が変わっても生活出来る適応性がありますが、野鳥はそれぞれ種によって食べ物が違い、その食べ物は自然の中から得ています。鳥は、その食べ物がなくなると生きていけません。また飛ぶために大きなエネルギーが必要で、体重を軽くしておく必要があります。そのため「食い溜め」しておくことが出来ません。

野鳥の寿命は短く、そのためその一生の間に子孫を残さなければ絶滅してしまいますので、鳥にとって^{いくすう}育雛は非常に大切な行事です。種の数維持するのに1年に何羽の雛を育てるかは、自然の法則で決まっています。鳥は、この時期は非常に神経質になっています。それを人が邪魔をするとどうなるかはお解りいただけると思います。

そのため、野鳥観察は次のことを守っていただきたいと思います。

- ① 鳥を驚かせないように静かに、近づき過ぎないように、大勢でなく！
- ② 付近の植物は採取しないで、自然のままに、土を踏み固めないで！
- ③ 服装はあまり目立たないものを！
- ④ 出来るだけ公道や遊歩道から観察しよう！（田畑や他人の土地に踏み込まない。）
- ⑤ ごみは捨てないで、持って帰ろう！
- ⑥ 巣が見つかってもしっとしておいてあげよう！
- ⑦ 同じ場所で長時間の観察は遠慮しましょう！

新居浜の主な探鳥地



①国領川河口ー垣生海岸

⑥新居浜市民の森

②大島ー阿島

⑦別子ライン

③滝の宮公園

⑧船木ー池田池

④多喜浜

⑨東平ー銅山峰

⑤山根ー広瀬公園

⑩別子山ー銅山川畔



コゲラ



ホオジロ



バン



カムカイツリ

写真提供：大賀康男、齋藤 勲、林 利夫

編集：新居浜才オドリ会

発行：新居浜市環境部環境保全課

〒792-8585 新居浜市一宮町一丁目5番1号

TEL：0897-65-1512

印刷：原印刷株式会社